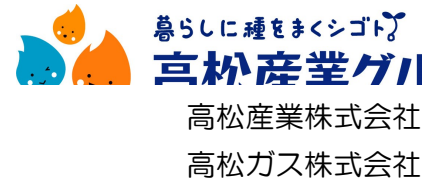


弊社のガスをご利用されているお客様へ



【ご案内】水道障害（凍結・破裂・損傷等）の予防対策について

拝啓

寒冷の候、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は弊社のガスを安全にご利用いただき誠にありがとうございます。

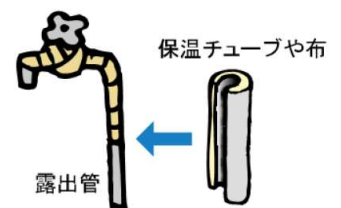
今年は例年よりも寒くなることが予想されており、ここ数日も気温低下が見受けられるようになって参りました。万一お客様宅の水道管が凍結し水（お湯）が出なくなる、破損・損傷に伴う断水等のトラブルが生じる事も予想されます。

つきましては、この様な状況を少しでも回避していただくための対処方法について、簡単ではございますが下記にご案内させていただきますので、ご一読・ご活用ください。

敬具

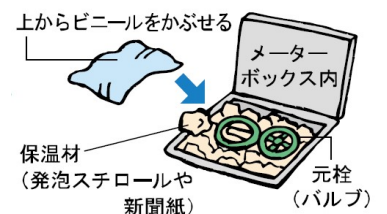
✓ 水道管や水道メーターボックスの保温を

水道管の凍結の防止には、保温が一番です。屋外に露出している水道管の保温には、保温チューブや布を巻くのが効果的です。水道メーターボックス内は、発砲スチロールや新聞紙などを入れ、保温されてみてください。



✓ 水の汲み置きを

夜中から朝方にかけて水道管が凍結し、水（お湯）が出なくなることがあります。出来ましたら事前に“水の汲み置き”をしておいてください。



✓ 水道管の凍結や破損事故の応急処置の対処方法について

水道管の凍結により水（お湯）が出なくなっても、日中気温が上昇すれば元どおりに水（お湯）は出るようになります。どうしても水（お湯）が必要な場合は、水道管にタオルをかけ、その上からぬるま湯をゆっくりとかけて溶かし、その後、タオルの水分をしっかりと拭き取った後に使い捨てカイロ等を管に巻きつけ凍結を溶かしてください。但し、ぬるま湯ではなく熱い湯をかけると水道管が破裂する恐れがありますので、十分注意されて下さい。万一、水道管が破裂したときは、水道メーターボックス内の元栓（バルブ）を閉め、破裂した箇所へ異物が入り込むのを防ぐため、破裂した箇所へ布やテープをしっかりと巻きつけて応急処置を施されて下さい。

ぬるま湯をゆっくりかける

熱湯はダメ！



✓ 万一、水道管が凍結してしまった場合は

万一、凍結して水（お湯）が出なくなってしまった場合は、無理に蛇口をひねって水（お湯）をだそうとしないでください。故障（ゴムパッキンの損傷）に繋がる可能性があります。